イタリア現代アート展

会期：９月１３日～１０月３０日 休館日：９月１７日（第３火曜日）

会場：神戸北野美術館

入館料：大人（中学生以上）500円　小人（小学生）300円

開館時間　9:30－17:30（入館は17時まで）

神戸北野美術館収蔵記念
ポリメノ生誕１００年記念展

カルロ・ゴーリ個展
「可能都市 Metropoliz」

会期中、オープニングパーティー、ライブペインティング、
ナイトミュージアム、ガイドツアー、現代芸術の日イベントと盛りだくさん！
詳しくはこちらから↓

イベント情報 → http://www.kitano-museum.com/

神戸北野美術館 KOBE KITANO MUSEUM

ISTITUTO italiano DI CULTURA OSAKA

MACRO ASILO Japan

MACRO ASILO

◆オープニングパーティー
9月13日午後6時から

◆ポリメノガイドツアー
10月6日

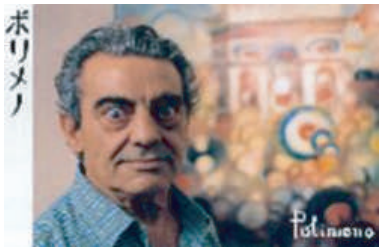
◆ナイトミュージアム
10月5日と12日

◆イタリア現代美術の日
10月12日

※無料入館日：１０月３日（神戸観光の日）
１０月１２日（イタリア現代美術の日）

※貸切日：９月２１日は
１３時からご予約のお客様のみご利用となります。

イタリア現代アート展



ポリメノ

1919年イタリア南部のカラブリア生まれ。2007年パリにて永眠。
パリのエコール・デ・ボザールで学び画家として活動を開始。
パリ現代美術館のパレ・デ・ボザール賞、ニース美術館や
シャルル・ド・ゴール空港でのEU記念展などでバイヨー博士賞や
キリスト美術展グランプリ等の数々の受賞実績を積み重ねて1990年に来日。
1992年に文化人として名高い故宇野宗祐元総理大臣の支持を得て
滋賀県立近代美術館で日本デビューを果たし、話題となった。
NHK教育テレビのフランス語会話の象徴として
1993年4月～1997年3月までの4年間、
エッフェル塔をモチーフとした絵画をはじめ、
多くのポリメノ作品がフランスの顔として全国放送された。

神戸北野美術館収蔵記念　ポリメノ生誕100年記念展

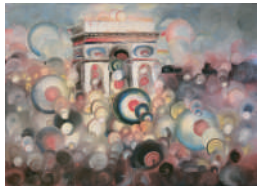
「私の耳は貝の耳、海の響きを懐かしむ」で有名な詩人・芸術家のジャン・コクトーは、ポリメノの作品について『イタリア、ヨーロッパで最も光あふれる表現』の画家であると評論し、称賛しました。
また、パリにおいてはモディリアーニの後にイタリアが輩出した最も独創的な画家として長年美術的な評価を受けてきました。
また、チャップリンからは「ある姿」を描くことも承諾されました。
『5次元』を表現するポリメノ絵画はスパッチュによってカンバスに描かれた数々の磁性球体が2次元を抜け出し、観る人の心へ『宇宙的な視覚』で直接訴えかけてきます。
滋賀県立現代美術館での日本デビュー後、宮城県立美術館、静岡県立美術館、愛知県立美術館、東京都世田谷区立美術館、練馬区立美術館、品川区立美術館等で展覧会が開催されましたが、その後ポリメノの遺志により、没後10年以上美術館での公開展示はされておりませんでした。
この度神戸北野美術館の収蔵記念として「ポリメノ生誕100年記念展」を開催致します。

10月6日（日）　ポリメノガイドツアー

ポリメノと親交があり、支援者の一人でもあった神戸北野美術館ポリメノ企画室嶋田室長によるガイドツアー。
展示絵画の説明（制作秘話）をはじめ、知られざる横顔や逸話まで、
これまでポリメノを知らなかった方にも作品を身近に感じて頂けるガイドツアーを実施します。
詳しくはホームページをご覧ください。→ http://www.kitano-museum.com/

ポリメノ作品

みずの森


凱旋門

磁性球体

ロータス

共催：神戸北野美術館　イタリア文化会館 - 大阪　MACRO ASILO Japan
後援：（一財）神戸観光局　（一社）神戸日仏協会　KOBEミュージアムリンク　MACRO ASILO
イタリア現代美術館協会AMACI　Gallery8　Play Art Meme　Contemporary Art Unit MAGURE
会場：神戸北野美術館　〒650-0002　兵庫県神戸市中央区北野町2-9-6
TEL/FAX：078-251-0581
入館料：大人（中学生以上）500円　小人（小学生）300円
開館時間：9:30－17:30（入館は17時まで）

神戸北野美術館
KOBE KITANO MUSEUM

カルロ・ゴーリ

マルチアーティストでありキュレーター。
1968年10月4日ノヴァラ生まれ
ローマに在住
特にイタリア、イギリス、日本で活動
ミラノ大学で文学部を卒業
ローマのジョルジオモランディ市立文化センターの会長
様々なアーティストプロジェクトに参加
・Tor Sapienza "Quartiere d'Arte" "Ideas in common"の受賞者
・Morandi a colori
MAAMの主要な活動家の1人であり、常設展のアーティストでもある。

カルロ・ゴーリ個展「可能都市 Metropoliz」
キュレーター・高田雄平

可能都市メトロポリス

「より良い未来を常に夢見ることができれば、人類は良くなるでしょう。　しかし、しばしば、権力、富、抑圧、憎しみが私たちの生活を調整します。
私たちは勇気を持ち、自分の肯定と尊厳のために喜んで戦わなければなりませんが、何よりもこれが、私たちが不可能が可能であると信じるのを助けるために、この地球上にユートピアを構築しようとするメトロポリスのような都市があることが重要である理由です。
展覧会について私が考えているのは、メトロポリスへの愛に触発された絵画作品やインスタレーションの作成に関連しています
メトロポリスが実際に存在している一方で、著者の排他的なファンタジーから生まれたという事実にもかかわらず、
イタロ・カルヴィーノの不可視の都市に形を与えることに匹敵するアプローチで。
タイトルは存在し続けることを願う一方で、可能性という考えに基づいていますが、それが表すものは、
多文化主義などの世界にインスピレーションを与えるために、積極的な方法で可能であること、人々の尊厳、権利、芸術と幻想、闘争などに価値を与えます。」

Carlo Gori

10月12日（土）　イタリア現代美術の日

MACRO ASILO JapanとPAM Play Art Memeがイタリア文化会館と
ローマの現代美術館MACROのMACRO ASILOプロジェクトの後援を受けて、共同で開催する特別イベント
このイベントは、イタリア現代美術館協会AMACIが主催し、現代美術の普及促進を目的とする第15回現代美術の日です。

イベント内容　入場無料　（ドリンクワンオーダー制）

10時	カルロ・ゴーリの展覧会「可能都市メトロポリス」
16時	アーティスト、カルロ・ゴーリ在館
17時15分	カルロ・ゴーリ解説
	「可能都市メトロポリス」のガイドツアー
18時15分	混血の町メトロポリスのビデオと
	画像のプレゼンテーション
19時	イタリア文化会館大阪協力のビュッフェパーティー
19時45分	混血の町メトロポリスでPlay Art Memeと
	Contemporary Art Unit MAGUREの
	アーティストによる証言